

令和5年度 利尻富士町総合教育会議 議事録

1 開催場所及び日時

- (1) 日時 令和6年3月25日(月) 午後2時55分～4時00分
- (2) 場所 利尻富士町役場2階 庁議室

2 出席者氏名

【町長部局】

利尻富士町	町長	田村 祥三
	総務課長	今野 英尋
	総務係長	山本 博文

【教育委員会部局】

利尻富士町教育委員会	教育長	吉田 秀昭
	教育委員	佐藤 吉郎
	教育委員	寺島 信宏
	教育委員	山澤由起子 (欠席)
	教育委員	成田 明美
	次長	山谷 文人
	係長	川端 ひめ

3 傍聴者 なし

4 議題

- (1) 利尻富士町教育大綱(2021年度～2023年度)推進状況について
- (2) 新・利尻富士町教育大綱の策定について
- (3) 部活動地域移行について
- (4) その他

5 会議の内容

別紙のとおり

【会議の内容】

1 開 会（今野課長）

2 町長挨拶（田村町長）

平成28年2月に1回目を開催以来、8年目。当時いじめ等社会的に問題化し始まった経緯がある。昨今のいじめ問題などを見ていると、町と教委間で円滑に進んでいない状況が見受けられる。本町ではそういうことのないよう円滑に進めていきたい。

3 説明・協議事項（進行：田村町長）

（1）利尻富士町教育大綱（2021年度～2023年度）推進状況について（資料1：次長）

大綱の目標は大きく分けて3つで、表のとおり目標別となっており、主な施策を実施した。

1 未来を生き抜く子供の育成

- ・小学校高学年を対象とした中学校での英語授業の実施（駕小・駕中）
- ・指導工夫改善加配教員による、算数・数学の小中連携乗り入れ授業や習熟度及びTT指導授業
- ・小中併置校における中学校教科担任の小学校乗り入れ授業（英語、理科、音楽）
- ・小学校から中学校への乗り入れ授業（書写）
- ・小・中学生の漢字・算数（数学）・英語検定受検料の助成、利尻高校模擬試験への助成。小学生の漢検、算検の受検率が7割に。
- ・学校支援地域本部を通じた人材派遣等による授業や部活動支援
- ・第37回読書感想文コンクール（地域人材の参画と活用）
- ・教職員の研修及び授業研究等の機会の充実
- ・働き方改革アクションプランⅢの策定 *添付資料により概要説明
- ・部活動の地域移行検討協議会の設置と方向性の協議

2 子供の学びを支える教育環境の整備と支援の推進

- ・教職員住宅の計画的整備（駕泊地区2戸建設）
- ・校務支援システムによる出退勤管理及び時間外勤務状況の把握と公表
- ・デジタル教科書実証事業による教科支援（英語：全小中学校、算数・数学：駕小・駕中）。6年度においては、小学校の教科書改訂に伴い、教師用指導書を購入。
- ・学校デジタル化推進協議会と連携した教員のICTスキル向上のための研修（各校実状の把握、グーグル関連の相談会等）
- ・9年間を見通した教育課程の編成
- ・駕泊小中運動会の相互協力（同日開催）。6年度は、合同開催を予定。

- ・家庭の経済状況や地理的条件への対応（就学援助（準要保護扶助費）・修学旅行費補助・中体(文)連大会出場費補助、育英資金の貸付）
- ・利尻高校通学費補助の実施
- ・児童生徒の給食費無償化の実施
- ・スクールカウンセラー事業（道派遣）の活用（小中高への定期的な巡回相談体制の構築）。6年度は、北海道医療大学との連携事業を実施予定。

3 生涯学習の充実と文化・スポーツ活動の振興

- ・文化振興のための教室等（絵画教室）
- ・大学との連携による遺跡調査の実施
- ・スポーツ振興のための各種大会・教室等（各団体、水泳・バトミントン・スキー教室）

【質疑なし、承認】

（２）新・利尻富士町教育大綱の策定について（資料２・３：次長）

2023年度までの大綱に代わる2024年度からの3年間の新大綱について、進級対照表により説明。北海道教育推進計画やこのたび策定した町学校教育推進計画（2024年度～2028年度）に沿って改定したい。

3 利尻富士町が目指す教育

令和5年度より導入した小中一貫教育、子供たち一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に必要となる資質・能力の育成について言及。

4 具体的な基本指針については、3つとし学校教育推進計画に基づき文言などを改定。

1. 子供たち一人一人の可能性を引き出す教育の推進
2. 学びの機会を保障し質を高める環境の確立
3. 地域との持続可能な教育の実現と生涯学習の充実

基本指針1 子供たち一人一人の可能性を引き出す教育の推進

以下を新設

- 小中一貫教育や中高連携の強化により、一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に必要となる資質・能力の育成を推進します。
- 「生きる力」を支える体力・運動能力の向上を図るとともに、健康教育や食育指導を推進します。

以下を削り、別項でふれる

- ICT環境の活用等による学習基盤となる資質・能力の確実な育成と多様な

興味・関心に応じた学習意欲を高める教育を推進します。

- 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進します。

基本指針2 学びの機会を保障し質を高める環境の確立

以下のように改定

- ICTを効果的に活用した学習活動ができるようGIGAスクール構想に基づいた環境整備に努めるとともに、教職員のスキルアップも含めた研修を通じて、授業改革・業務改善につなげていきます。

以下を削り、指針1の小中一貫教育に含める

- 保・小・中・高間での密接な連携を図り、円滑な移行を図るとともに、継続した教育の推進に努めます。
- 小・中間の一層の連携と義務教育9年間を通じた教育課程、指導体制、教職員の養成等のあり方について、一体的に検討を進めます。

以下を新設

- いじめや不登校など初期段階での積極的な認知や取組を重視し、関係機関やスクールカウンセラーなどとの連携によるメンタルヘルスケアの充実を図ります。

基本指針3 地域との持続可能な教育の実現と生涯学習の充実

以下を新設

- 学校運営協議会を通じた学校支援活動の充実や部活動の地域移行など地域と学校とのさらなる連携・協働に努めます。

(町長) 指針1で削った「開かれた学校づくり」は、大事だと思うがどこに充てるのか。

(次長) 地域に開かれた学校という捉えで、指針3の学校運営協議会に含めている。

(町長) 近頃、色々な会議で「社会教育」というワードを聞く機会が多くなったがどういった理由からなのか。

(次長) おそらく、学校教育で賄いきれない地域の教育力＝社会教育が、学校支援などでもクローズアップされてきているからと思われる。

【質疑なし、承認】

(3) 部活動地域移行について(資料4:次長)

5年度進めてきた部活動地域移行の検討経緯について、資料に沿って説明。6年度は

子どもたちや保護者のニーズの高いサッカーについて、サッカー協会とも連携しながら試行する。試行によるメリットやデメリットを洗い出しながら、他種目についても協議を行っていく。

(町長) ふだんの日の体制は。

(次長) 指導体制が確保できること、また子どもたちや保護者が動けるよう、練習は放課後の部活動の時間ではなく夜に設定。

(町長) 我々の育った世代と違い、部活というものに対するイメージがあり理解が追いつかない部分もある。

(教育長) 今回偶々、中学校の顧問の先生がサッカーの指導者で熱心に進めてくれたおかげでクラブ化という動きになったかと思う。

(町長) サッカーばかりでなく、小学生のなかには野球がやりたいという声も聞く。野球も利礼3町でクラブ化の動きがあると聞くが。

(次長) 部活動地域移行とは別の動きではあるが、中学校の先生が中心となって起ち上げたもの。

(町長) 行政側としては、地域移行という観点からだけでなく、今後新たに立ち上げた野球に対しても支援など整合性をとる必要が出てくるのではないかな。何か目標となるものも含めて考えていかないとならないのではないかな。

(成田委員) 野球は、少年団が鴛泊になく鬼脇に通っているなど聞いていた。

(次長) 現在は、鴛泊の子どもたちは杢形の少年団に多く所属している。

(教育長) 野球の場合、町を跨ぐので利礼3町での協議となってくると思う。

(佐藤委員) 女子も何かやりたいとかなないのかな。バレーボールとか。

(町長) クラブ化された種目、部活動のままの種目、新たに起ち上げた種目、指導者の報酬など差も生まれてくる。その差異をどうするのかなどの課題もあるのではないかな。

(4) その他

(教育長) このたびの3月補正予算での学校へのエアコン設置にかかる予算、また新年度での教育関係予算での前年度対比プラス3%ということで、教育委員会としてお礼申し上げ、学校教育のより一層の推進に向け進めていきたい。

(町長) 中学校の修学旅行が東京へ行くようになったが、自己負担の度合いはどうか。

(教育長) 移動が飛行機利用などで、札幌とそれほど変わらない。

以上

(議事録作成者：教育委員会次長 山谷 文人)